

第3回

とちぎの環境と子どもの 未来を考える会

～「自然体験×子ども福祉」
連携の可能性を探る～

より多くの子どもたちに自然体験の機会を届けるために、栃木県域で「自然体験活動」に携わる主体と、「子ども福祉」に携わる主体が一同に会し、「自然体験×子ども福祉」の連携・協働取組の可能性を検討します。

開催
日時

7/3 **木**
13:00～16:00

参加費 **無料**
定員 **30** 名



↑ 申込はこちら

会場

とちぎボランティアNP0センター

ぽ・ぽ・ら

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-2-7

主催：環境省関東地方環境事務所

協力：関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)/とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク

☆プログラム

○趣旨説明と自己紹介 25分

○キーノートスピーチ 60分

- ・ 幼少期の自然体験の重要性について
▶スピーカー：サシバの里自然学校 遠藤隼さん
- ・ 事例紹介①：トチギ環境未来基地×キッズハウス・いろどり
▶スピーカー：トチギ環境未来基地 塚本竜也さん
キッズハウス・いろどり 萩野友香里さん
- ・ 事例紹介②：那須高原自然学校×キーデザイン
▶スピーカー：那須高原自然学校 真山高士さん
キーデザイン 土橋優平さん

○スピーチの感想共有 20分

○意見交換 60分

- ・ 困難を抱える子どもたちを対象に自然体験を提供する視点に立って、大切にしたいこと、気をつけたいことを、「自然体験」と「子ども福祉」双方の視点から議論する。

○ワークシート記入 5分

○閉会（閉会后、任意参加で交流タイム）

「栃木県のすべての子どもたちに自然体験の機会を届ける」ため、公教育ではカバーしきれない子どもたちへの自然体験活動の機会の提供について、多様な主体で検討することを想定しています。

特に、「子ども福祉」に関わる方で自然体験活動に関心がある方、「自然体験」にかかわる方で自然体験の機会を増やしたいと考えている方の参加をお待ちしています！

☆スピーカーのご紹介

◇キッズハウス・いろどり 萩野友香里さん



（一社）栃木県若年者支援機構 子どもの貧困対策事業部長。
2016年4月に当団体に入職、翌5月に宇都宮で最初のこども食堂をスタートさせる。独立採算制で財源を生みながら徐々に活動を広げ、2018年に空き家を活用して子ども総合支援拠点「キッズハウス・いろどり」を開設、運営責任者を担う。多数の市民ボランティアを受け入れながら年間延べ3,200人以上の子どもたちと関わり、子どもの食・体験・生活支援に取り組む。

◇キーデザイン 土橋優平さん



1993年生まれ、2016年にNPO法人キーデザインを設立し、不登校をテーマに活動する。栃木県内に2つのフリースクールをオープン、全国から約5,000の保護者が登録する無料LINE相談窓口「お母さんのほけんしつ」を運営するなど、子どもとその家族の支援に力を入れる。2021年栃木県経済同友会「社会貢献活動賞」を受賞、2025年にはForbesJAPAN「NEXT100」世界を救う100人に選出される。また栃木県内のフリースクールなど支援機関を掲載する不登校ポータルサイト「たより」を手がけ、全国に講演にまわるなど、発信活動にも尽力する。

☆とちぎ子ども自然体験活動ネットワークについて

T-NatureKids!

とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク

栃木県内で子どもの自然体験活動に取り組む民間団体のネットワークです。

県内の自然体験活動がさらに魅力的なものになるよう、実施団体間の連携を深めながら、「参加したい！」子どもや親御さんに情報をお届けすることを目指しています。



サシバの里自然学校
校長 遠藤隼氏



那須高原自然学校
理事長 真山高士氏



トチギ環境未来基地
代表理事 塚本竜也氏

お申込みはこちら



https://epc.or.jp/pp_dept/tochigi_kidsnature

<お問い合わせ>

事務局 関東地方環境パートナーシップオフィス（関東EPO）

担当 高橋 山本 TEL：03-3406-5180

MAIL：kanto-epo@geoc.jp

とちぎボランティアNPOセンター <会場> ぽ・ぽ・ら

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-2-7

○アクセス

①JR宇都宮駅から
・戸祭台循環「みやバス」「県庁正門前」下車
・西端田経由の戸祭及び宝木団地行き「県庁正門前」下車

②東部宇都宮駅から
・徒歩15分

③お車で越えしの方
・県庁地下駐車場（2時間まで無料※以降30分毎150円）
※駐車券を取得されましたら、会場の「ぽ・ぽ・ら」までご持参ください。施設にて2時間無料の措置が施されます。

